



—ぼいす—
Voice

No. 6

第6号

平成24年3月発行

四谷三丁目界隈

よっさんキラキラストリート
写真提供 新宿～御苑～四谷タウン誌「JG」



消防博物館前交差点

消防博物館より眺めた四谷三丁目風景

若葉二丁目界隈



愛染院の門前

子ども天国の風景

西念寺服部半蔵の墓

四谷を走る
都電



都電のお話は8ページをご覧ください。

四谷のお宝さがし

～秘話・こぼれ話をご紹介～



四谷を走る都電の思い出

張り巡らされた無数の電線と、その下をのんびり走る都電。そして驚くのは、新宿通りの上に、ビルが見えない大きな空が広がっていること……そんな都電が走る四谷の風景を映した数々の写真が、3月17日に開かれた「第5回四谷お宝さがし発表会」に出品されました。応募してくださったのは、東武電車の博物館「東武博物館」の名誉館長を務めている花上嘉成さんです。

花上さんは昭和15年、四谷生まれ。四丁目の自宅から、新宿にあった中学まで、通学に毎日利用していたのが都電でした。まだ丸ノ内線も開通していなかった当時の四谷三丁目界隈。住民にとってはなくてはならない便利な足だったといいます。

「もともと乗り物が好きでしたが、なかでも都電は、もっとも身近な乗り物。中学に入ったばかりの昭和28年ごろ、小遣いと月賦で自分のカメラを手に入れたのをきっかけに、都電の写真撮るようになりました。都電廃止が決まった昭和40年代に入ると、今度はその姿を写真に残しておきたいという一心で、夢中でシャッターを押しましたね」(花上さん)

卒業後は東武鉄道に入社し、乗り物ファンから乗り物のプロに。東武浅草駅長なども務めた花上さんは、都電の魅力をこう話します。

「発車の合図は鐘の音。また、扉の開け閉めも手動。都電は電車の基本形のようなシンプルな構造です。朝夕はいつも満員で、決して乗り心地はよくなかったけれど、町の風景を見ながら移動できる楽しさがありました。そして何より、都電が走っている四谷の風景が好きなんです。高い建物もほとんどない、明るくて、のどかな四谷の風景ですよ」

花上さんの写真は、当時の四谷の姿を今に伝えるまきにお宝。発表会では、その写真の一部が紹介され、花上さんによる「都電にまつわる思い出話」と題した、お宝発表会5周年特別講演もおこなわれました。

実行委員長のコメント

都電が走る新宿通りの風景は懐かしさとともに「四谷らしさ」を感じます。当時の四谷住民にとって都電は、街をやさしく通り抜けるそよ風のような存在だったのではないのでしょうか。今、路面電車は人と環境にやさしい交通機関として見直されていますが、いつかこの「お宝風景」が、ふたたび現実のものになるかもしれませんね。(四谷お宝さがし実行委員長・豊村泰彦)



四谷三丁目からは7番品川行、33番浜松町行が出ていた。後に10番渋谷～須田町も通った。(四谷三丁目から信濃町方向を撮影)



12番新宿～岩本町(後に両国)と並んだ晴海埠頭行都バス。(四谷三丁目から新宿方向を撮影)



都電の車両の色も緑色系統からお馴染みの黄色系統へと時代とともに変わった。(四谷三丁目の交差点方向を撮影)



昭和30～40年代、花上さんとともに都電の風景を切り取ったカメラたち。写真の数は千枚以上に及びます。

編集後記

東日本大震災の影響はまだまだいたる所で深刻な状況です。放射線もそのひとつ。区では国よりも高い基準で放射線量の測定を実施しているそうです。復興支援の一助を考えた「内藤とうがらし」が平和のスパイスになって欲しいと思います。(N)

編集・発行 四谷地区協議会【事務局】(四谷特別出張所内)
〒160-8581 新宿区内藤町87番地
電話 3354-6171 FAX. 3350-9403
E-mail : http://www.city.shinjuku.lg.jp

次号は平成24年10月発行予定です。

最新版
内藤とうがらし
Hot情報

平成24年度 四谷地区協議会
「内藤とうがらしを地域で育てる」活動

- ①今年も純種の八房とうがらし1000苗を専門農家に育成依頼中!
- ②苗の配布は5月13日を予定しています!(生育状況によりです)
- ③八房とうがらしの苗を100円で販売します!
- ④「種から育てるとうがらし」プロジェクト
社会福祉協議会の東日本大震災義援金協力者に種をプレゼント!
- ⑤地域で連携したイベント・お料理講習会を開催します!
- ⑥新宿区民の方ならどなたでも申込み可能です!
- ⑦内藤とうがらしの育て方、楽しみ方がわかるガイドブックを作成!

申し込み等詳しいお知らせは町会掲示板、回覧などでお知らせします。
みなさん楽しみにお待ちください! ※お問い合わせは4月下旬に事務局まで。



こんにちは町会長さん！

皆様のまちの町会長さんに、わが町の魅力を語っていただきます。
今回は**若葉二丁目と四谷三丁目**です。
(ご紹介する町会は町会連合会で随時決定されています)

Q1 名物名所、ご自慢をお教えてください！

若葉二丁目町会
昭和18年の町名改正の際に四谷寺町と鯉河橋谷町2丁目とが合併してできた町で、若葉が生い茂るようという意味を込めて「若葉二丁目」となりました。町内には8ヶ寺あります。江戸時代の盲目の国文学者**塙保己一**や、内藤新宿の生みの親**高松喜六**の墓がある**愛染院**、**服部半蔵**の槍や墓のある**西念寺**等名所旧跡も数多くあり、各地から大勢の訪問者で賑わう歴史と人情のある町です。

四谷三丁目町会
三丁目の交差点から東西へ400m国道20号（新宿通り）沿いの世帯数の少ない町会です。この小さな地区三丁目には金融機関が多く、須賀神社の例大祭ではその昔、銀行の方々にも神輿を担いでもらう為に月曜日に神輿を出したそうです。近年では都市銀行の行員が少なくなり、地元「さわやか信用金庫」の方々にお願ひしています。日曜日にお神輿が終了した他町会の若人に応援に来て頂いているので何とか月曜神輿も続けています。今年（平成24年）は本祭りですのでどうぞよろしくお願ひします。

Q2 とっておきのお話や人気行事、面白ければ話しを教えてください！

若葉二丁目町会
昭和39年以来毎年「子ども天国」を8月に開催しています。当町会のみならず、四谷地域全般の子どもからおとなまで楽しんでいただいています。

四谷三丁目町会
町内の新宿通り沿いでは、四谷三丁目自商店街の事業として3年前より12月にイルミネーションを点灯しています。国道20号沿いで行っているのは、東京ではここだけです。華やかさはないのですが、逆に落ち着いた四谷らしい雰囲気好評で、町内の自慢です！



子ども天国はとっても楽しい～！

Q3 ずばりどんな町ですか？ PRをどうぞ！

若葉二丁目町会
木造密集地の為、災害に強く安心して住み続けられるまちづくりに目下行政の指導のもと奮闘努力している所です。なお、谷町ですから、坂道を登ったり、下ったりで足腰が強くなり、健康に良い町です。

四谷三丁目町会
実は、町内には防犯カメラが設置されており新宿通り沿いのエリアをすべて24時間記録しております。また町内には、四谷消防署もあり近隣には四谷警察署とまさしく四谷三丁目は「安心・安全の町」と言えるのではないのでしょうか。

四谷地区協議会「多世代交流事業」が動き始めます。

● 計 画 内 容

- その1** ビオトープの地域愛称を募集します！
募集期間：平成24年3月15日(木)～4月5日(木)
※選考には町会連合会にご協力いただきます。
- その2** 平成24年5月下旬（予定）にビオトープ完成を祝う「オープニングセレモニー」を開催します！
- その3** 「ビオトープの自然観察会・交流会」を定期的で開催します。
地域の方に昔の四谷界隈の情景や遊びを教えてくださいながら、自然に親しむ会を開催します。
- その4** 新宿区が作成予定の掲示板に、みんなで発見した「ビオトープの自然」のお知らせ更新に協力します。

活動については出張所等でのチラシ配布、町会の掲示板等で随時ご案内します。楽しみにお待ちください！

都会の真ん中で水辺の自然を楽しもう！

四谷地区協議会第2分科会（テーマ：健康で安心なコミュニティづくりを考える）では、**みなみもも町公園の「ビオトープ」**を拠点にした「多世代交流」を目的とし、平成24年度より左記の計画を決定しました。今後、町会・四谷冒険遊びの会・四谷地区青少年育成委員会等の地域団体及び新宿区と力を合わせ、「ビオトープ」が楽しい交流の場となるようサポートします。

歴史に学び、未来を読む 「四谷史談」を挟みつつ をお聴きして四谷を再考する

四谷地域商店街活性化委員会

去る平成23年11月29日（火）東京都トラック総合会館7階大会議室において標記の講演会が開催されました。テレビ等で活躍の加来耕三先生のリズム感溢れる楽しい講話には、特に四谷を再考する際のヒントとなるいくつかのキーワードがありましたので地域の皆様にご紹介させていただきます。

- 一、歴史を未来の指針とするためには、立ち止まって歴史の内実を考えよ。伝えられる歴史を疑いなさい。
 - 二、過去を正確に読み解くことで今日を生きそして明日につながることをできる。過去に必ずあったはずの兆しを注意深く観察しなさい。
 - 三、四谷の文化の移り変わりは、明暦の大火・関東大震災が時代のひとつの節目であった。
- 以上のレクチャーの後「東海道四谷怪談」について先生は次のように語られました。



「四谷さんぽ オキニイリ、ハッケン！」発行記念講演会
歴史に学び、未来を読む ～「四谷史談」を挟みつつ～
講師：加来耕三氏
主催：東京商工会議所新宿支部 四谷地域商店街活性化委員会

● 東海道四谷怪談お岩さんの真実
田宮稲荷の神社来歴によると良妻賢母であったお岩さんが田宮家の屋敷内の稲荷社を祀ったところ、没落しかかった家運が向上したため、近隣からご利益に預かろうと信仰が集まった。このことが真実であったにもかかわらず、鶴屋南北は1825年当時、傾きかかった歌舞伎を盛り返すためにこの美談を下敷きに怪談漸く変えてしまった。つまり、今に至るまでまことしやかに伝えられているのは創作話である。では、何故に、創作話が史実のように語りつがれたかというところ北の創作した「御家人の不義密通の果ての怨念話」は、武家御家人が没落した後も、依然として武家社会であることに不満を募らせていた町人にとって、鬱憤晴らしになり大好評を博した。演出効果もあって、真実味を帯びた迫力ある話が独

り歩きをしているのである。ここで、「四谷は東海道ではない。何故東海道四谷？」と疑問を持つことが大切である。舞台設定の「東海道」は江戸でないという幕府への言い訳であった。江戸が舞台であると政道批判につながる。政道批判は「四谷」が舞台に選ばれた理由とは、「四谷」（大番町、伊賀町・大番組屋敷・御先祖組屋敷など）は江戸で最も御家人の多い代表的土地柄で合わせて貧乏御家人の内職の筆頭である「かさ張り」などをする御家人が多かった。さらに、今の四谷大通りから甲州街道は敵に攻め込まれた際、江戸城から甲府城への退路になる真直ぐな道となっていて、江戸城攻めを防ぐ構造からみると特殊な道であった。界限には幕府が信頼する寺が多く、親藩支藩・旗本御家人が街道裏を占めていた。つまり「四谷」には「武家社会の縮図」が見られ、政道批判にはうってつけであったからなのである。「東海道四谷」とすることで、架空の場所だと主張しつつ、没落していく武家社会をイメージさせたわけだ。

「四谷」の地名が全国に知れ渡る怪談漸くは政道批判を巧みに全うするために仕掛けられた創作でありました。しかしながら、この謎とときにこそ、四谷の歴史を再考するヒントがあるのだと気づかされ「歴史を疑い真実を読み取る」ことから未来が見える」という加来先生の言葉を実感いたしました。

川口市市民活動と四谷地区協議会の交流会報告

平成24年2月8日に四谷地域センターにおいて、標記の会が開催されました。出張所より協議会にご紹介させていただいたこと、役員が川口市の受講生の質疑に回答しました。協議会の発足、NPOとの連携等質問は多岐にわたりましたが、団体の設立に関わる質問が多くありました。終了後「声」では、川口市の市民団体代表の方から下記のような質問にお答えいただきました。

問1 貴団体の活動をご紹介ください。

川口市の協働推進のために、平成19年3月16日に設置された懇親会で市長より委嘱を受けた15名（学識経験者2名、市民活動団体8名、市民公募5名）で構成され、主要な活動として、協働フォーラム、市民力コーディネーター養成講座があります。

問2 今回の交流の目的をお教えてください。

市民力コーディネーター養成講座の一貫として、地域協議の先進事例として協力の要請をさせていただきました。

問3 今回の交流会を通し、四谷地区協議会にどのような印象を持たれましたか？また、ご感想は？

組織は「人」との想いを強く持ちました。そして区職員とのコラボもうまくいっている印象を受けました。関心事は、協議会に於ける町会、市民団体との協調・協働のスタンスでありましたが、永遠の課題であることに強い印象を受けました。当協議会においても区民と行政の協働、区民活動の在り方等をあらためて見直す良い機会となりました。

特に地域諸団体との連携の在り方については、活動6年目を迎えた当協議会でも重要な検討課題の一つであります。互いの立場を尊重しつつ、協働することによって大きな力が作れるよう、協議会を地域力連携の場として活用していただきたいと考えます。

くわしくは次頁をお読みください。



青少年活動推進委員

区内の各地域における生涯学習のボランティアとしての活動、子どもの健全育成を目的に、区が委嘱している委員です。子どもの保護者や地域の大人を対象にした活動を実施し子どもを育むためのより良い環境作りを行っています。また、親子対象の情報誌「あ・そ・ま・な」を発行しています。

広がるネットワーク

四谷地区協議会 と連携する 団体紹介 (順不同)

四谷地区協議会は様々な地域団体と連携する組織です。単一団体では難しい活動も「地域の協議会」という場を有効利用して活性化できることを願っています。

例えば「四谷子ども見守り隊」では、町会連合会・地域の企業・学校・青少年育成委員会等様々な団体と協力した見守り活動を継続しています。

四谷地区町会連合会・町会

四谷特別出張所管内の町会は、29あります。町会ごとに選出された町会長が、月に1度、第2木曜日に定例会を持ち、横の連携を強化し情報交換を行う場が町会連合会です。

各町会では、地域自治を担う活動を推進しています。いざという時には頼もしい「ご近所力」を発揮するとともに、様々な楽しい町会行事も開催しています。

四谷地区協議会の構成員

■第4期51名 ■平成23年5月～平成25年5月 ■任期2年

●町会推薦委員：10名(町会長8名、町会役員2名) ●地域団体推薦委員：13名(重複推薦2名) ●公募委員(在勤・在学・在活動を含む)：30名

四谷ひろば

新宿区から四谷第四小学校跡地を借り受け、地域で自主運営を行う。“世代を超えた交流を営むことによって新たな活力を生み出すとともに、地域文化の発信拠点となること”を目指し、施設の貸出しや各種集いの場の運営やパソコン、うたごえ、ヨガ、卓球教室、ピアノ演奏会等を行っています。※随時ボランティア(有償)募集中です!!

四谷地域センター (四谷地域センター運営委員会)

四谷地域の方たちの様々な活動、交流の場として且つ、新宿区民相互のふれ合いを通して理解と連携を深めるため設置されています。

区内には10ヶ所の地域センターがあり各々独自の活動(事業)を展開しています。

四谷地区民生委員・児童委員協議会

乳幼児から高齢者までの見守り等、それぞれの相談に応じて、日々活動しています。四谷の地域団体と連携した活動では、「子育て応援イベント」、四谷スポーツフェスタ、シニア健康体操教室等、各学校・地域行事にも積極的に参加、協力をしています。

四谷消防団

消防団は「自らの地域は自らで守る」という精神で地域に密着した幅広い活動をしています。通常は生業を営みながら、災害時には消防隊と連携をとり活動にあたり、他にも火災予防活動、四谷防災フェア、応急手当の指導、地域コミュニティにおける警戒など防災の中心的な役割を担っています。

八校会(四谷地区PTA連合会)

四谷地区の小中学校は以前八校あったことを記憶に留めるためその名を残す。現在は四谷中・四谷小・四谷第六小・花園小の4校のPTAで組織され、毎年、輪番で会長校、育成会担当校、歓送迎会担当校等を決定。各学校間の情報交換並びにPTA親睦を目的としたスポーツ大会等を実施しています。

四谷地区青少年育成委員会

四谷地域の環境浄化と青少年の健全育成を図るための様々な事業を行っている自主的団体です。

<主な事業内容>
①史跡めぐり ②命の教育講習会 ③各種ボランティア活動 ④夏休みキャンプ ⑤野球であそぼう会 ⑥サッカーフェスティバル ⑦夏休み映画会

他に四谷地区全域にあいさつ運動と見守り活動の推進を行っています。

スクールコーディネーター

スクールコーディネーターの主な活動は、学校の教育活動の支援です。四谷地域では、四谷中学校、四谷小学校、四谷第六小学校、花園小学校の各校それぞれに1名在籍し、学校と地域を結び役割を担っています。

四谷地区高齢者クラブ連合会

60歳以上の区民で町会、自治会を単位として結成された自主的なグループです。活動内容は健康維持、友愛、社会奉仕などで、地域の一人暮らしや夫婦世帯の高齢者同士の支え合いと一人一人の絆を深め高齢期を豊かに元気で明るく生活することを目指しています。

四谷地区商店会連合会

四谷には12の商店街があり、四谷大好きまつりを始めマップやホームページの作成、その他多くの事業を実施しています。「町の活性化は商店会から」を合言葉に、住みよく居心地の良い環境作りを目指しています。

新宿区保護司会

保護司は、保護観察対象者への指導・助言を通して健全なる社会復帰の手助けをします。例えば、地域社会貢献を通して育まれる意識による再犯防止と更生を図ります。

しかしながら重要なことは、犯罪・非行を未然に防ぐことであり、その為の地域連携を皆さんと考えたいと思います。

四谷清掃協力会

行政と共に清掃リサイクル活動を支えゴミ減量の普及啓発に努めています。町会単位の清掃活動、春のゴミゼロデーや清掃施設見学会、親子見学会そして年1回のリサイクルフェア、マイバックキャンペーン等を行っています。各町会から選出された女性部員により尚一層活発に行われています。

四谷地区スポーツ交流推進委員会

だれもが目的やレベルに応じて多様なスポーツを楽しめる機会と場を提供するため、地域や学校と協働しながら、将来は総合型スポーツクラブへの移行を目指しています。愛称は『四谷スポッコ』です。

放射線に関わる身近な情報について



声

新聞、ニュースの放射線に関する情報だけではなく、新宿区の情報も知りたいと思います。

東日本大震災による原子力発電所の被害がもたらす放射線問題は今も尚、深刻な状況が続いています。そこで今回は、区生活環境課公害対策係に放射線に関する情報をお聞きしました。

Q1

新宿区に寄せられている放射線に関する問合せ・相談はどのような内容が多いのでしょうか? そしてそれに対する区の回答は?

A 小さいお子さんの保護者の方から、「子どもを保育園に通わせている。また公園もよく利用するが、砂場の砂や、土壌が汚染されていないか心配。測定の上、除染を行ってほしい。」「保育園や小学校の給食に汚染食材が使用されていないか心配なので測定してほしい。」との相談や問い合わせが多く寄せられています。

それらの声にお応えるために、東京都が百人町にある健康安全研究センター

で毎日空間放射線量測定を行っています。区でも、区民の皆さんに安心していただくため、昨年6月に、保育園、こども園、幼稚園、小中学校の全園・全校（一部私立を除く）と、児童館、公園や屋外スポーツ施設等、約200施設の子どもが多く通う区の施設で、空間放射線量を一斉測定しました。いずれも高い値は示されなかったことを、各施設やホームページで公表しました。

また、厚生労働省のホームページに、国や都道府県が実施している食品のモニタリング検査の結果が公表されていますが、放射性セシウム（ヨウ素）の暫定基準値を超えた牛肉が流通した問題以降は、他の食品も含めて検査が強化されており、区としては流通している食品は安全と考えています。しかし保護者の方に安心していただけるよう、区内の保育園・こども園や学校の給食について、昨年の9月7日に給食1食分の放射性物質（ヨウ素131、セシウム134、及び137）のサンプリング検査を実施しました。結果はすべて不検出でした。この結果もホームページで公表しています。また、食材の産地を知りたいとの声にお応えし、各園、各学校では、給食食材の産地を公表しています。

Q2

全国でホットスポット等が話題になっているが、区ではどのような対策を講じていますか?

A 昨年11月から、保育園、小中学校をはじめ、134施設において高い空間放射線量が予測される雨樋下等について、測定を行いました。

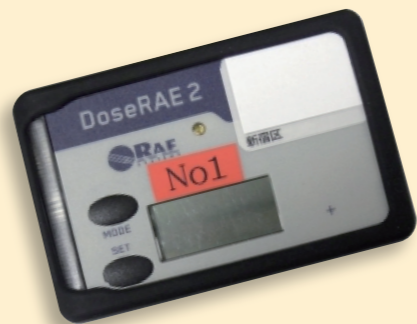
測定方法は、まず雨樋下、集水マス、水たまりが得意やすいところ等を、地上5センチメートル程度で測定しました。この測定で毎時0.23マイクロシーベルト以上の値が測定された場所について、再度地上1メートルと、地上5センチのところまで詳細な測定をおこないました。国の基準は地上1メートルでの測定で、毎時0.23マイクロシーベルト以上が除染の対象になっています。1メートルの測定で、この基準を超えた箇所はありませんでしたが、区では、地上5センチメートルを超えた箇所についても、除染に準じて清掃や表土の入れ替え等の対策を講じ放射線量を低減化させています。

測定結果及び措置内容についての状況

Q3

区では空間放射線量測定機を貸出ししているそうですが、どこに申込みればよいのですか?

A 公害対策係で予約受付・貸出しを行っています。区民が、区内の放射線量をご自分で測定できるよう、現在4台の測定器を、午前8時30分から午後5時まで貸出ししています。予約（電話03-5273-1376）は、申込み日の翌月末の利用分まで（土、日、祝日を除く）受け付けていますので、ご利用ください。



放射線測定器 (およそ9×6cmのポケットサイズ)

体験!

転ばぬ先のストレッチ講座

「信濃町シニア活動館会場編」

(開催日時・火曜10時~11時)

今回お邪魔したのは、ほぼ毎週1回開かれている「信濃町シニア活動館」会場です。この講座風景をご紹介します。

講師の蔭山智香子先生が、ここでの体操教室の様子を話して下さいました。

「80歳代の参加者もいらっしやるので、ハードな体操はしません。でも知らず知らずのうちにいろいろな筋肉が動いている。そんなプログラムを心がけています。」その言葉の通り、腕を伸ばす、腰を回



すなどの簡単な運動も、続けるうち、じわりと汗が。冬場は、体操で身体がほぐれて温まり、着てきたコートを、会場にうっかり忘れてしまう参加者も少なくないそうです。

「60~70代になると、家族に仕事や家事などを任せる人も増えてきます。普段の生活でも、身体を動かす機会が減ってしまうので、身体というのは、動かさなければ、動かなくなってしまうもの。体操で筋肉を動かすだけで、グンと身体が動くようになる方も多いですよ。年のせいと諦めないで、体操と一緒に身体をほぐしましょう」と、熱心にお話し下さいます。

こちらの教室のほか、新宿区の児童館で長く親子体操教室の講師も務めている智香子先生。親子体操教室同様、風船を

やってみよう!

智香子先生の肩こり予防体操

教室でも好評の、肩こり予防の体操をご紹介します。誰でも簡単にできる3ステップ。運動不足を感じたら、ちよつとした時間の合間におすすめてです。



1 手を肩に当てながら、肩をぐるぐる回します。



2 つぎは腰に手を当て、肩胛骨を前後にスイング



3 手をだらんと下げて、肩を上げたり下げたり揺さぶります

四谷地区協議会の

刊行物のご案内

「四谷わくわくマップ」増刷しました!

平成21年度より四谷地区協議会と新宿歴史博物館の協働で発行しています四谷の坂と横丁のお散歩マップです。好評により第3版を増刷しました。

四谷特別出張所、新宿歴史博物館、四谷ひろば、四谷地域センター、四谷図書館等で配布中です。



「四谷まち歩き手帖」ただ今編集中!

ただ今、昨年より活動をスタートさせた「観光まちづくり実行委員会」により、四谷のまち歩きガイドを志す方のための一味違うまち歩きガイドブックを作成中です。この手帖を完成させるのは手にした方自身です。

6月以降に、「観光まちづくり活動」にご協力、ご参加くださった方に配布予定です。ご期待ください!

